

写

農技第695号

令和2年2月4日

山形県農林水産技術会議会長

西澤 隆 様

山形県知事 吉村 美栄子

農作物の奨励品種及び優良品種の改廃について（諮問）

消費者の多様なニーズや内外の産地間競争の激化に対応した農畜産物の生産を推進するため、山形県農林水産技術会議条例第2条第1項第2号の規定により、別紙事項について諮問いたします。

諮 問 事 項

諮問第 1 号 水稻奨励品種の改廃について

1 水稻「出羽燦々」を奨励品種に編入する。

【諮問の内容】

「出羽燦々」は、山形県農業総合研究センター水田農業試験場において、美山錦を母とし、青系酒 97 号を父として交配して育成された品種である。

中生（て）で、やや長稈（かん）である。

美山錦より耐倒伏性、耐冷性、穂いもち抵抗性は強いが、葉いもち抵抗性はやや弱い。玄米品質、心白発現率が美山錦より勝り、酒造用原料米として好適である。

中山間地帯及び中山間地帯寄りの平坦地帯に適する。

平成 7 年に優良品種に採用され、現在、本県酒造好適米作付面積の約 5 割を占める本県オリジナル品種であり、需要拡大が見込まれることから奨励品種に編入する。

2 水稻「出羽の里」を奨励品種に編入する。

【諮問の内容】

「出羽の里」は、山形県農業総合研究センター水田農業試験場において、滋系酒 56 号（吟吹雪）を母とし、山形酒 49 号を父として交配して育成した品種である。

出穂期及び成熟期が出羽燦々より 2 日程度遅い中生（なかくて）種である。

いもち病抵抗性はやや強く、耐冷性は極めて強い。

収量性は出羽燦々よりやや低いが、玄米千粒重は出羽燦々並みである。

玄米の心白の発現率は出羽燦々及び美山錦より明らかに多く、心白の大きさも出羽燦々及び美山錦より大きく、安定して良好である。

玄米粗蛋白質含有率、醸造後のアミノ酸度は出羽燦々並みで、酒造用原料米として好適である。

中山間地帯及び平坦地帯に適する。

平成 18 年に優良品種に採用され、現在、本県酒造好適米作付面積の約 2 割を占める本県オリジナル品種であり、需要拡大が見込まれることから奨励品種に編入する。